



◇今号「特集」の筆者から◇

P15-18「保育者にとっての『自然体験』の意味」の筆者、室田洋子氏からのインフォメーションです。

「保育者のための自然体験合宿」は、長野県茅野市にある中央農業大学校で平成26年夏より農林水産省の補助金を得て開始された合宿研修です。

平成26、27年度は補助金を利用するため、参加者は食費のみ負担。原村のペンション2泊の費用、交通費（JR高尾駅から）も国の助成によっています。各回16～20名受付。

平成27年度は、7月24～26日、8月7～9日、8月21～23日、9月4～6日の4回、先着順です。

詳細は中央農業大学校ホームページをご参照ください。

『7歳までのお守りBOOK—西野流「ゆる親」のすずめ（上）「正しい母さん・父さん」を頑張らない。』
西野博之著 ジャパンマシニスト社 2015年

友人がとてもステキな本を書いてくれた。生まれてきた子どもは、彼の言うところの「お宝ちゃん」。いのちを祝福されたその時のまま、ずっと「お宝ちゃん」として在ってほしい。書き手の応援の声を読み手に聞こえてくるような本だ。それは良い本、読みたい本の条件の一つであると思う。ゆるキャラが、そのゆるさ故に時代にかなうものであるなら、親が、サブタイトルにある「ゆる親」であることこそ、時代にかなう在り方なのだろう。母さん父さんだけでなく保育者にも読んでほしい。（KT）

お茶の水女子大学 ECCELL 社会人プログラム
「変革期の乳幼児教育・保育を考える」
平成27年度 後学期（10月開講）受講生募集

乳幼児教育・保育や子どもにかかわるすべての方々を対象に、豊かな学びを実現するためのプログラムを夜間（18:20～19:50）と集中講義で開講しています。今年度後学期の開講科目は次の通りです。
「子どもと家族Ⅱ」（月・加藤邦子）
「乳幼児教育・保育政策論Ⅳ」（水・逆井直紀）
「現代保育課題研究X」（木・浜口順子ほか）
「比較保育実践研究V」（集中講義：11/15、12/23 金澤妙子）
「子ども家庭支援相談Ⅳ」（集中講義：平成28年1/30-31 安治陽子）

【出願期間】平成27年7月21日（火）～8月3日（月）

【URL】<http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji>

【Eメール】nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

【TEL】03-5978-5949（担当 安治・猪股）

お茶大子ども学ブックレットの紹介

お茶の水女子大学ECCELL（乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築）で企画した子ども学シンポジウム、保育フォーラム、特別講義などを記録した冊子の5冊目です。

Vol.5 第5回お茶大保育フォーラム（H26.6.29開催）「日本の保育現場における“遊び”の意味」

【講演者：榊原洋一（お茶の水女子大学大学院教授）、河邊貴子（聖心女子大学文学部教授）】

実費（500円＋送料）にてお分けします。ご希望の方は、ECCELL事務局 nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp までお問い合わせください。